

※ 1 枚ずつお取りください。

川上校区 公民館だより

第157号

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp

川上のアオバスク

令和7年(2025年)8月

佐賀市の人口 225,538人

川上校区の人口 5,756人

川上校区の世帯数 2,274世帯【令和7年6月末現在】

川上校区公民館からのお知らせ 佐賀市のwebサイト「つながる川上」

まちづくり協議会で実施している活動、校区の行事、公民館講座など、生活に役立つ便利で楽しい情報を掲載しています。

「つながる川上」



10月1日から市立公民館の位置づけを変更します

営利事業に関する利用制限を一部緩和することによって、民間主催のセミナーや、マルシェなど、これまでなかった公民館の新しい活用法を進めます。また、地域団体と地元企業などとの協働連携や若い世代への新しい体験を推し進めることで、地域活動の担い手が増えている姿を目指します。



作品名：「明るい青空」

川上小6年 岡本 結愛さん（上戸田）

公民館主催・共催講座募集のお知らせ



今年もみかんの木オーナーを募集します

1本のみかんの木のオーナーになり、自分の名前のついた木を自分の手で収穫していただくものです。収穫までの栽培管理は、園主が責任をもって行なう単年度毎の制度です。



園名	川上みかんの木オーナー園
所在地	大和町大字川上地内（小隈地区と大願寺地区の2箇所の樹園地）
品種・本数	「普通温州」30本 ※数多いみかんの木から好きな木を選んでいただきます。
収穫時期	11月10日から11月30日を目途に収穫をしていただきます。
価格	1kg当たり200円～250円
申し込み先	川上校区公民館（Tel 62-5775）
申し込み期限	9月11日（木）まで（完売次第受付を終了します。）
駐車場完備	普通自動車10台程度
事業主体	園主・川上校区公民館・まちづくり協議会共催事業
その他	川上の自然の中、四季の移ろいを感じながら普段はできない体験を是非、ご家族、ご友人と満喫していただければと思います。提供できる本数（30本）に達した場合は受付を終了とさせていただきます。申し込み完了後、オーナーとなられた方には後日、みかんの木を選んでいただきます。その確認後に各人名札を用意し、木毎に名札を付けます。9月末に詳細について説明会を開催します。



オーナーの皆さんへの説明会



家族連れで収穫を楽しみました



子ども初めての収穫を体験しました



※写真は前年の様子です

8月の講座・行事等の開催日程 ※詳しくは、7月号公民館だよりをご覧ください。

8月7日（木）10：30～12：00 楽しく子育て「親と子のミュージックセラピー」を開催

8月8日（金）、18日（月）10：00～11：30 大型スクリーンで見る宇宙の絶景「太陽系・銀河系」を放映

8月23日（土）13：30～15：00 「佐賀大学管弦楽団」学生オーケストラによる演奏会の開催

※詳細については、川上校区公民館（Tel 62-5775）に問い合わせ下さい。



コソボ共和国の家庭料理教室に参加しませんか



コソボ共和国はバルカン半島中部の内陸部にギリシャの北側に位置する国です。今回の料理教室はコソボ共和国の伝統料理です。料理のほかにその国の生活、文化についてお話ししていただきます。

日時：令和7年9月19日（金）10：00～12：30

場所：川上校区公民館 参加費：1,000円

料理名：「ケバブとパン・ライスプディング・アイラン」の3品を作ります。

定員：12名 申込締切：9月11日（木）

講師：佐賀大学留学生（クラスニチご夫妻）

持参品：マスク・エプロン・三角巾・筆記用具

目的：外国の食文化に触れその国を身近に感じ、生活風習や文化について理解することで共生・協働できる社会を目指します。



クラスニチご家族

【公民館主催】



ケバブとパン



アイラン



ライスプディング

公民館主催・共催講座等の報告



「川上の五色まんじゅう日記 その②」プロジェクトチームが試作に取り組む



公民館の多様な活用実証実験で取り組んでいる「川上五色まんじゅう（イチゴ、スモモ、ブルーベリー、ミカン、ヨモギ）」のうちの3色（1回目）を試作しました。前日の仕込みで発酵させた生地を丸めて、蒸しあげたまんじゅう73個が出来上がりました。生地の発酵には季節や温度、湿度によって微妙に変化することで調整が難しいと言われていたのですが、強者揃いのチーム、昔を思い出しながら饅頭づくりに挑戦しました。試食すること、全員が口を揃えて味は申し分ないで一致しました。しかし、今回のコンセプト、添加物を一切使用しない五色の色出しが今後の課題となりました。次回は色出しに挑戦したいと全員が意気込んでおられました。【6月3日（火）9名 公民館、校区社協、一般住民有志、野副商店】



前日に発酵させた生地の説明



生地を同じ大きさに丸める準備



生地を均等に取り分けます



大きさを揃えるにも一苦労



15分程で蒸しあがります



不揃いですが最高の出来栄です



味は最高全員で試食しました



色出しが今後の課題で全員が意見を



さかの歴史講座「明治日本の近代化～近世から近代への歩み～」を開催しました



佐野常民と三重津海軍所跡歴史館館長の佐幸順平氏による、「明治日本の近代化～近世から近代への歩み～」というテーマで講演をしていただきました。イギリスで起こった産業革命が世界を大きく変えたこと、当時の日本と佐賀藩を取巻く状況、佐賀藩の近代化への取り組みなどを分かりやすくお話ししていただきました。

幕末の佐賀藩が日本で強い輝きを放っていたのは、藩主直正公が人材育成、人材登用などに力を注いでいたからだということが分かりました。参加者からは「幕末佐賀藩の話をお聴く機会はこれまでもあったが、産業革命からの流れを解説してもらったのは初めてでとても面白かった」という声がありました。今回の講演は三重津海軍所跡が世界文化遺産となつて10周年を記念して、パネル展と同時に開催しました。【於：川上校区公民館 6月4日（水）受講者14名 公民館主催】次ページに続く



公民館フリースペースでのパネル展の様子



佐幸順平氏による講演会の様子



川上健康道場(全11回)がスタートしました

体力維持のための健康講座「川上健康道場(全11回)」が開講しました。今回は、参加者の体力の現状を把握するための測定です。西九州大学スポーツ健康福祉学科講師の山口裕嗣先生の指導により実施しました。

①体組成(身長、体重、筋肉量、脂肪量)、②動脈硬化度(血管年齢)、③歩行機能(速さ、バランス、ふらつき、腕の振り)、④立ち上がり(筋力、バランス)の4項目に亘って実施しました。今後は、測定結果を基に月1回のペースで色んな健康維持プログラムが展開されていきます。参加者は決められたプログラムを自宅で取り組み、体力の変化を観察していきます。参加者の皆さんは、10か月後の体力の変化を楽しみにされている様子でした。

【於：川上校区公民館 5月23日(金) 参加者 23名 校区社会福祉協議会、公民館共催】



大学から持ち込まれた器具を使って現状把握のための体力測定 測定結果説明と各テーブルで参加者をサポートする学生の皆さん

土砂災害特別警戒区域の点検パトロールを実施しました

出水期を控え、川上校区自主防災会で6団体合同による危険個所のパトロールを実施しました。

高速道路北側に位置する8自治会(川上、水上、西山田、小隈、大願寺、今山、横馬場、西野)の土砂災害特別警戒区域の確認点検と河川及び水路の増水による危険個所、道路の起伏箇所における大雨時の冠水状況、また、住民の避難経路について、各单位自主防災会の会長から説明を受けました。

実施主体【川上校区の主要団体で構成 6月8日(日) 参加者 53名】

自主防災会本部、単位自主防災会(各自治会)、川上校区公民館、佐賀市消防団大和支団(4・5分団) まちづくり協議会、自治会女性部



土砂災害警戒区域の説明(川上)



対岸より急傾斜地の説明(川上)



ため池維持管理説明(西山田)



土砂災害警戒区域の説明(水上)



土砂災害警戒区域の説明(水上)



ため池・土砂災害警戒区域・河川増水による危険個所の説明(大願寺)



土砂災害警戒区域の説明(横馬場)



河川上流部の状況説明(横馬場)



河川増水による危険個所と土砂災害警戒区域の説明(西野)



危機管理防災課職員からの講評

「自治会女性部と川上小児童が「クリーン作戦」で快適な地域づくり

川上校区自治会女性部が川上小児童と一緒に「クリーン作戦」を実施しました。今年は ①水のむだをなくそう ②電気のむだをなくそう ③ごみをへらそう ④物をたいせつにつかおうの4つの目標を確認しました。1、2年生は学校内のゴミ拾いと草むしり、3年生～6年生は学校周辺のごみ拾いをしました。

この取り組みは、地域がきれいで住みやすい環境になることを目的に毎年行っている活動です。また「ごみのポイ捨てをしない」「自分たちの地域は自分たちできれいにする」などの環境啓発の一環として実施されています。【取材日：5月30日(金) 自治会女性部 7人・川上小学校全児童】



4つの目標を確認しました



女性部一人一人が自己紹介



3年生～6年生は学校周辺を



集めたごみを分別しました

佐賀新聞「ひろば」読者の声に大願寺の健福寺での晋山式について 檀信徒の横尾信雄氏が投稿された掲載記事をいただきました

晋山式 佐賀市大和町 横尾 信雄 【2025年(令和7年)5月20日(火曜日)】

先月、大和町大願寺の健福寺で、第三十四世晋山式が執り行われました。晋山式とは新たに住職任命を受けた僧侶が、住職として入寺する儀式のことです。今回、前住職の山口亮栄氏に代わって、新しく平井亮昌住職が就任されました。亮昌住職は50年の長きに渡って立派に勤め上げられ、その職を亮昌住職が引き継がれたのです。



健福寺は西暦712年、行基によって開創された真言宗御室派の由緒ある寺院です。元亀元(1570)年、今山の合戦で戦火にさらされ、その後も大洪水に遭うなど、雄大を誇っていた寺院は次第に荒廃していきました。寛永11(1634)年、実相院座主であった尊純が当山に移り住み、現地で再興して現在に至っております。



晋山式前日の4月26日(土)稚児行列
雄大を誇っていた寺院は次第に荒廃していきました。寛永11(1634)年、実相院座主であった尊純が当山に移り住み、現地で再興して現在に至っております。

晋山式は、佐賀・長崎の真言宗の僧侶25人をお招きし、多くの檀信徒が参加しました。亮昌住職はサラリーマンからの転職で、相当の覚悟を持って修行を積まれました。これから健福寺を守っていく決意を涙ながらに誓われ、感動を受けました。式に先だっては稚児行列がありました。子どもたちの健やかな成長を祈念して行われるのです。この稚児行列は、50年前の前職の亮昌住職の晋山式の折にも行われました。小生の長男が4歳の時でした。その頃は子どもも多く、長い行列が続いていたことを懐かしく思い出しています。

また、健福寺は佐賀の歌仙である今泉蟬守(かにもり)の菩提寺としても知られています。境内には蟬守の「梅のやま月たちのぼれ河上のやなせに落ちる鮎の数見む」などを刻んだ歌碑があります。



国の重要文化財に指定されている健福寺の銅鐘



今泉蟬守の歌碑